

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第102号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年7月6日 04時18分ごろ	
発生場所	山口県彦島南西方沖関門航路内 福岡県北九州市小倉日明防潮堤灯台から真方位037° 1,370m付近（概位 北緯33° 55.0′ 東経130° 53.7′）	
事故等調査の経過	平成21年7月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 貨物船 <sup>ひかわ</sup>氷川丸、498トン 131646、有限会社徳島汽船</p> <p>B 貨物船 <sup>しょうりゅう</sup>松竜丸、490トン 131827、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、松島海運有限会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、五級海技士（航海）</p> <p>B 船長、五級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 左舷船首ブルワークに擦過傷</p> <p>B 右舷中央部に破口</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長Aほか4人が乗り組み、関門航路内において、約11ノット（kn）の速力で手動操舵により北北西進中、B船は、船長Bほか3人が乗り組み、約8knの速力で自動操舵により北北東進中、平成21年7月6日04時18分ごろ、A船の左舷船首部とB船の右舷中央部とが衝突した。 その後、両船は、自力で航行した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東、風力 2、視界 良好</p> <p>潮流：東流最強時の約1時間後南東流約1.8kn</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>船長Aは、関門航路内の小倉日明防潮堤付近で、停船していたB船を追い越したため、B船は、A船の後方を航行していると思い込んだ可能性があると考えられる。</p> <p>A船は、左舷方のB船に気付かなかったことから、周囲の適切な見張りを行っていなかったものと考えられる。</p> <p>船長Bは、停船中、北東進するA船を見たので、A船は、関門航路東口に向かうと思い込んだ可能性があると考えられる。</p> <p>B船は、右舷方のA船に気付かなかったことか</p>

	ら、周囲の適切な見張りを行っていなかったものと考えられる。
原因	本事故は、関門航路内の小倉日明防潮堤付近において、A船が北北西進中、B船が北北東進中、両船が適切な見張りを行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。